

日本サンゴ礁学会誌 投稿規程

Instructions for authors, Journal of the Japanese Coral Reef Society

日本サンゴ礁学会誌（和文誌）は、広くサンゴ礁に関する日本語の論文を受け付ける。本学会員外からの投稿も受け付けるとともに、編集委員会から論文の執筆依頼を行うことがある。

投稿される論文はいずれの印刷物にも発表されていないものに限る。論文が共著の場合、本誌への投稿にあたり、共著者の同意を得ていること。公表された図や本文を本誌に投稿する原稿に使用する場合は、出典を明記し、必要であれば著作権保持者の許諾を得ること。

1. 投稿

原稿は、e-mail の添付ファイルとして下記宛に送付する。投稿の際には、希望する原稿の掲載区分（2. 論文の種類と原稿の構成についてを参照）を明記する。

和文誌編集長 藤田和彦

E-mail: j-jcrs@jcrs.sakura.ne.jp

投稿された原稿は、和文誌編集長（以下、編集長という）が内容に基づいて分野別編集幹事（以下、編集幹事という）を選定し、送付する。編集幹事は、査読者を選定し、査読者のコメントを参考にして、必要な場合は著者に修正を求め、最終原稿の掲載可否の判断を下し、著者に結果を通知する。原則として、原著論文・総説及び短報の査読者は2名以上、フォトギャラリーの査読者は1名以上とする。展望、解説、討論、資料、事例紹介に関しては編集幹事あるいは編集委員が査読し、必要な場合は著者に修正を求め、編集長に答申する。

投稿を希望される方の事前相談を歓迎する。事前相談をする場合は、編集長（j-jcrs@jcrs.sakura.ne.jp）に連絡されたい。

2. 論文の種類と原稿の構成について

原稿の種類は、原著論文、総説、短報、フォトギャラリー（サンゴ礁絵図）、展望、解説、討論、資料、事例紹介とする。

原著論文 Original paper：オリジナルな調査・研究データを含む論文で、刷り上がり12ページ以内とする。原稿の構成は（1）タイトルページ、（2）要旨とキーワード、（3）はじめに、（4）材料と方法、（5）結果、（6）考察、（7）謝辞、（8）引用文献、（9）図表の説明、（10）表、（11）図とする。

総説 Review article：サンゴ礁に関連するトピックにおける現状を概説し、研究動向を示すもので、刷り上がり

12ページ以内とする。原稿の構成は（1）タイトルページ、（2）要旨とキーワード、（3）はじめに、（4）本文、（5）謝辞、（6）引用文献、（7）図表の説明、（8）表、（9）図とする。本文は章ごとに見出しをつける。

短報 Note：刷り上がり2-4ページの、オリジナルな調査・研究データを含む速報性の高い論文とする。原稿の構成は原著論文と同じであるが、結果と考察は分けずに「結果と考察」としてまとめる。

フォトギャラリー（またはサンゴ礁絵図） Photogallery or Pictorial diagram：科学的に興味深い写真あるいは図と簡潔な説明文で、刷り上がり1ページとする。

展望 Perspective：サンゴ礁に関連するトピックの将来展望を記述する。

解説 Commentary：サンゴ礁に関連するトピックを詳しく解説して紹介する。

討論 Discussion：サンゴ礁に関連するトピックについて異なる見解の提示を通じて課題を共有する。

資料 Document：サンゴ礁に関連するデータベースなど、利用価値のある資料とその説明を記述する。

事例紹介 Case report：サンゴ礁保全・再生やその教育活動等に関する活動事例を紹介する。

展望・解説・討論・資料・事例紹介については、刷り上がり12ページ以内とし、要旨とキーワードは省略することができる。

超過ページ費：著者が日本サンゴ礁学会の会員の場合は超過ページ費用は無料であるが、会員外の場合は超過ページの費用は著者負担とする（4,000円/頁）。

3. 原稿作成について

原稿はMS-Word形式で準備し、A4版用紙を用いて横書きで作成する。1行あけとし、2.5cm以上の余白をとる。句読点は「、。」（ともに全角）を用いる。「である」体で記述する。

タイトルページ：タイトルページには、簡潔で分かりやすい表題 Title、著者名 Author(s)、所属 Affiliation、簡略表題および連絡著者 Corresponding author と、その e-mail address を記す。タイトルページは、日本語と英語の両方を準備する。ただし、簡略表題は日本語のページのみにつける。日本語のタイトルページは原稿の最初のページとし、英語のタイトルページは原稿の最後に付ける。

要旨 Abstract：要旨は日本語と英語の両方を別々のペー

ジに分けて準備し、研究の背景、目的、方法、重要な結果、そして結論を400字以内（英語は300語以内）で述べる。英語の要旨は英語のタイトルページの後に付ける。

キーワード Keywords: 4-6語のキーワードを要旨の後に記す。日本語と英語の両方を準備する。

本文: 見出しと小見出しをゴシック体で表示する。数字による区分は使わない。

略字: 要旨と本文のそれぞれにおいて、最初に使用する際に定義する。

謝辞: できるだけ簡潔に述べる。ただし助成金を提供した団体名は正式名を記す。

引用文献: 引用文献のリストは、本文中で引用した文献（すでに公表されたもの、または受理されたものに限る）のみを含める。私信は本文中でのみ示す。

本文中での文献の引用形式:

(Konishi 1985; Eakin and Glynn 1992; Smith et al. 1995)

Konishi (1985), Eakin and Glynn (1992), Smith et al. (1995)

(山里 1990; 山里・土屋 1993; 山里ら 1998)

山里 (1990), 山里・土屋 (1993), 山里ら (1998)

引用文献の記述方法: 以下の要領でアルファベット順に配置する。英文雑誌名の省略については、List of Title Word Abbreviations (LTWA: <http://www.issn.org/services/online-services/access-to-the-ltwa/>) を参照すること。

Glynn PW, Perez M, Gilchrist SL (1985) Lipid decline in stressed corals and their crustacean symbionts. *Biol Bull* 168: 276-284

Grassle JF (1973) Variety in coral reef communities. In: Jones OA, Endean R (eds) *Biology and geology of coral reefs*, Vol: Biology 1. Academic Press, New York, pp 247-270

Hongo C, Yamano H (2013) Species-specific responses of corals to bleaching events on anthropogenically turbid reefs on Okinawa Island, Japan, over a 15-year period (1995-2009). *PLoS ONE* 8: e60952, doi: 10.1371/journal.pone.0060952

河名俊男 (1987) 生物群集の成立基盤としてのサンゴ礁地形. *月刊海洋科学* 19: 536-544

日本サンゴ礁学会 (2011) サンゴ礁学—未知なる世界への招待. 東海大学出版会, 神奈川, 362p

日本サンゴ礁学会公式サイト (2017) サンゴ礁 Q&A. http://www.jcrs.jp/?page_id=622

酒井一彦・西平守孝 (1995) いろいろな種類のサンゴ

の共存. 西平守孝・酒井一彦・佐野光彦・土屋誠・向井 宏 (編) *サンゴ礁-生物が作った生物の楽園*, 平凡社, 東京, pp 15-80

図と表: すべての図 (写真, グラフ, 描画) と表は、本文中で引用し、その順に従って番号を付す。

図は300 dpi以上の解像度で作成し、eps, jpeg, tiffまたはpdfファイルで提出する。図中の文字はHelveticaまたはArialを推奨する。倍率はスケールにより示す。図の説明は、簡潔で、図の理解に必要な十分であるものとする。図の説明は日本語と英語の両方を準備する。

表はExcelまたはWordのタブで作成する。表には、タイトルと表中の略語などの説明文を付す。表中の文字は明朝体またはTimes New Romanを推奨する。表の脚注は上付きのアルファベット小文字で示す。有意差など統計結果についてはアスタリスクを用いる。表の説明は日本語と英語の両方を準備する。

電子付録: 論文を補足する記載・データ・図・表を電子付録としてJ-STAGE版に掲載することができる。電子付録には番号にSをつける (例 表S1)。作成要項は図と表に準ずる。

カラー図の掲載と費用: カラー図の論文pdfへの掲載は無料であるが、冊子体のカラー印刷を希望する場合は、印刷費 (1ページあたり約50,000円) を著者負担とする。冊子体はグレースケールでの印刷、pdfはカラーでの作成を希望する場合は、投稿時にグレースケールの図とカラーの図の両方を提出すること。

学名: タイトルと本文中の各章の初出では*Galaxea fascicularis*のように完全な学名を用いるが、2回目以降は*G. fascicularis*のように属名を略す。分類に関わる内容を含む原稿の場合は、初出では分類者名と年を記すこと (例 *Galaxea fascicularis* Linnaeus 1767)。

コンプライアンス: 試料の採取にあたっては、国際法規定や当該国内法、条例、現地の慣例等にしたいが、採取許可証がある場合は許可番号を記載すること。

4. 最終稿の電子ファイルと著作権譲渡証書の提出

連絡著者は、受理された最終稿について、全ての電子ファイルと、著作財産権を譲渡する旨の「著作権譲渡証書」を学会事務局に提出する。

5. 校正と別刷り

校正が連絡著者に送られる。著者による校正は原則として1回とする。著者は校正刷りを受け取ってから指示された期日までに印刷のミス点を点検し、編集委員会に返却する。なお校正の際、文章図表の変更は認めない。やむを得ず変更する場合は、実費を徴収する。

論文の pdf ファイルが著者に無料で提供される。別刷を必要とする場合は、有料で申し込むことができる。

6. 著作権

掲載された論文の著作権は日本サンゴ礁学会に帰属する。詳細は「日本サンゴ礁学会誌著作権規程」を参照のこと。

7. その他

サンゴ礁保全・再生セクション

日本サンゴ礁学会誌は、「サンゴ礁保全・再生セクション」を設け、サンゴ礁生態系の保全・再生に関わる論文を掲載する。サンゴ礁保全・再生セクションの論文の種類は、通常の投稿論文の種類と同じとする。

特集セクション

日本サンゴ礁学会誌は、サンゴ礁に関する特定の主題に基づいて特集セクション（または特集号）を発行する。特集セクションの発行を希望する場合は、編集長宛に企画書を提出する。企画書には、内容の概略、編集者、編集スケジュール、掲載予定の論文の簡単な内容とその著者を記載する。編集委員会で内容を吟味し、特集セクションの発行の可否を決定する。

特集セクションの論文の種類は、通常の投稿論文の種類と同じとする。

特集セクションの編集者は、原著論文、総説、短報、フォトギャラリー（またはサンゴ礁絵図）に関して査読者を選定し、査読者のコメントを参考にして、必要な場合は著者に修正を求め、最終原稿の掲載可否の判断を編集長に答申する。原則として、原著論文・総説及び短報の査読者は2名以上、フォトギャラリーの査読者は1名以上とする。展望、解説、討論、資料、事例紹介に関しては特集セクションの編集者が査読し、必要な場合は著者に修正を求め、編集長に答申する。編集長は原稿の掲載に関する最終判断を下し、特集セクションの編集者に結果を通知する。特集セクションの編集者は、その結果に基づき、著者に最終原稿の提出を求める。著者は最終原稿を特集セクションの編集者に提出する。特集セクションの編集者は、受理された最終稿一式を編集長に提出する。

受賞記念論文

日本サンゴ礁学会誌は、学会賞受賞者及び川口奨励賞受賞者による受賞記念論文を掲載する。受賞者は、投稿規程に従って、受賞となった内容に関する論文を編集長に投稿する。編集委員あるいは外部査読者が査読を行い、編集長に答申する。編集長は原稿の掲載に関する最終判断を下し、著者に結果を通知する。著者は、受理された最終稿について、ファイルを編集長に提出する。